

YUKARI TSUUSHIN ゆかり通信

よりよいこれからの生き方をお考えの方に。

新年号
Vol. 100

2019年1月15日

この冊子はエデンの園ゆかり会
会員の方に年4回お届けしています。

2019年新年のご挨拶

聖隷福祉事業団と
エデンの園の歴史

EDEN INFORMATION

〔100号記念〕
ゆかり通信のあゆみ

生まれ変わる 浜名湖エデンの園

表紙: 浜名湖エデンの園開設時のパンフレットと、現在もお住まいのご入居者（詳しくはP.06へ）

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 **エデンの園**「ゆかり会」情報誌

今まで、
これからも、
皆さまの
笑顔と共に。

おかげさまで、創刊100号

1994年3月の創刊以来、
本誌で100号を迎えることができました。
これもひとえに
「エデンの園 ゆかり会」の会員の皆さまの
ご支援によるものと深く感謝申し上げます。
この100号という節目を機に、
より一層紙面を充実させるとともに、
皆さまの人生に彩を添え、日々の生活に役立つ
情報誌を目指して参ります。
これからも、
より一層のご愛顧を賜りますと幸いです。

ゆかり通信〔第100号〕
2019年1月15日発行

企画・編集／社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 入居者募集センター
〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町218-26 聖隷ビル8階
TEL.053-413-3294(代) ☎0800-888-1765(いいな ろうご)
発行人／彦坂 浩史 本紙に掲載されている写真は全てご本人のご了承をいただいております。



はせがわ たもつ
長谷川 保

1903年 静岡県浜松市に生まれる
「聖隷」創設者のひとりであり初代理事長

終わりよければすべて善し。人生の最後の行程を幸せに過ごすことの願い。第二に心もからだも健康で豊かに過すこと。食べることに不自由をしないこと。愛情と善意につつまれて過せること。美しい自然と住まいの中で暮らすこと。一輪挿し。美しい花がいつでも手に入ること。病気になるたら専門医に診てもらえること。入院もできて、やさしくきりつ

とした看護婦さんに看護してもらえること。腰や頭がいたくて動くことが困難になったらヘルパーさんに助けてもらえること。慕わしく、愛情を感じる異性とつきあえること。おいしいものがいつでも手に入ること。冬暖かく夏涼しく、梅雨時でもからっと生活ができること。余暇を持てあますことなく、働きたければ働け、さればと言いつて仕事に追われてせ

かせかすることもない。そして、最後には死ぬことが恐ろしくなく、他人の口や顔を気にすることなく楽しく暮らせる場所をつくってみよう。そう考えたのは十七年前のこと。

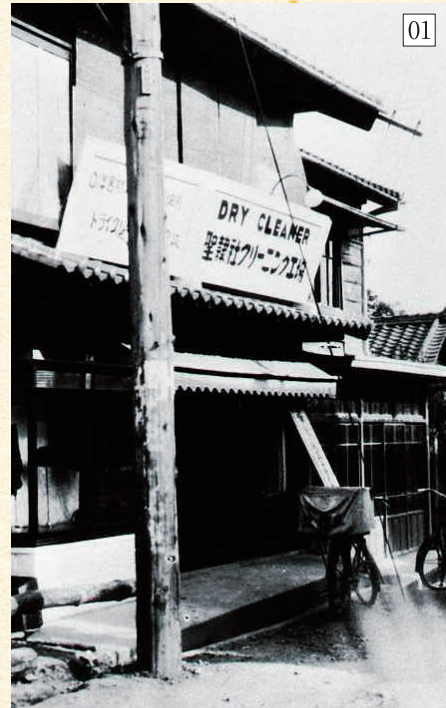
浜名湖エデンの園 15周年記念誌
「はじめの「歩」への寄稿から抜粋
(1988年5月1日発行)



05



03



01



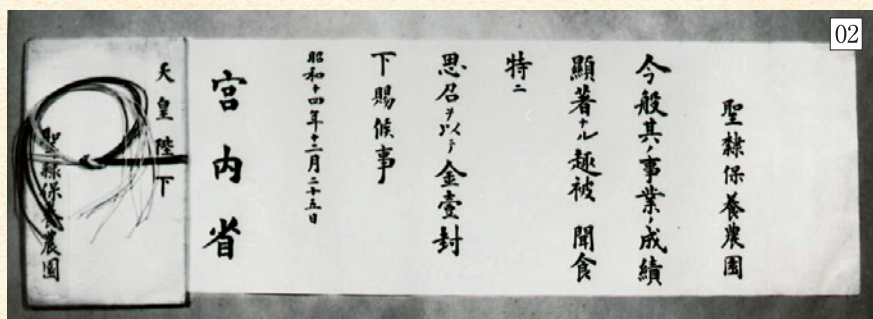
06



04



07



02

※一部写真は聖隷歴史資料館所蔵

01	教会の青年達が社会事業を目的に「聖隷社」創業。長谷川保、山形春人ら「聖隷社クリーニング店」開く (神の家) 建築	1926年
02	12月25日 昭和天皇より特別御下賜金を拝受 聖隷三方原病院の前身となる聖隷保養園附属病院開設 社会福祉法人の認可、「聖隷保養園」に。長谷川保初代理事長就任	1937年 1939年 1942年 1952年
03	聖隷浜松病院開設 社会福祉法人聖隷保養園を社会福祉法人聖隷福祉事業団に改称	1962年 1973年 1976年 1979年 1980年
04	浜名湖エデンの園開設 (108戸)	1981年
05	マザーテレサご来訪 聖隷三方原病院、一般病棟の中でホスピス活動を開始 ウエルエイジングプラザ奈良ニッセイエデンの園を開設。運営受託 (現在は共同事業)	1983年 1984年 1986年 1991年 1992年
06	天皇皇后両陛下が聖隷三方原病院ホスピス病棟ご来訪 ケア付き高齢者住宅 明日見らいふ南大沢を開設。運営受託 ウエルエイジングプラザ松戸ニッセイエデンの園を開設。運営受託 (現在は共同事業)	1994年 1996年 1997年 1999年
07	聖隷佐倉市民病院開設 聖隷横浜病院開設 聖隷淡路病院開設 日本郵政からの事業譲渡により浦安エデンの園開設 横浜エデンの園開設 藤沢エデンの園開設 浜名湖エデンの園増築4号館オープン (総戸数332戸) 浜名湖エデンの園 新12号館オープン予定 (総戸数429戸)	2003年 2004年 2007年 2010年 2011年 2018年 2020年
08	浜名湖エデンの園3号館増築 (総戸数206戸) 油壺エデンの園開設 浜名湖エデンの園4.5号館増築 (介護居室新設・総数372戸)	1983年 1984年 1986年 1991年
09	松山エデンの園開設 宝塚エデンの園開設	1980年 1979年
10	浜名湖エデンの園2号館増築 (総戸数134戸)	1976年



エデンの園

生まれ変わる

浜名湖

エデンの園

浜名湖エデンの園は1973年（昭和48年）に

聖隷三方原病院の隣地に1号館を開設し、

1976年（昭和51年）に2号館、

その後現在に至る6号館まで、

増築や耐震対策等を行ってきました。

そしてこのたび、ご入居者のさらなる安全と安心のため、

旧耐震基準で造られた鉄筋コンクリート造の建物では

日本最大規模となる1・2号館の建て替え工事を

2020年春の完成を予定し進めています。

このたび建て替えられる建物は、

建築基準法で定められた耐震性能の1.5倍の強度があり、

安心なだけでなく、食堂・大浴場・玄関ロビーなど、

ほぼすべての共用部分が一新します。

ご入居者に、より快適に生活いただける

環境を目指しました。

高齢化率がますます高まっていく中、

居室を増やし、さらに多くの方々にご入居いただき、

快適に過ごしていただけるよう整備いたします。

ご入居者のさらなる
安全・安心のために

新施設の特徴

耐震

建築基準法で定められた
耐震性能の1.5倍の耐震強度

防災

災害時も食事提供が可能になるよう、
厨房機器に非常電源を装備

住環境

食堂・大浴場・玄関ロビーなど、
ほぼすべての共用部分を一新



浜名湖エデンの園
園長 宮原 成信

浜名湖エデンの園の建て替え工事は、準備工事も含めると2017年1月に始まり、2018年9月には増築4号館が完成し、現在ご入居者には5階の食堂（新2号館完成までの仮食堂）をご利用いただいております。新1・2号館完成までの間ご入居者には、長くお住まいだった居室を移っていただくなど工事中的ご不便をお掛けしております。そのような状況にあっても、お一人おひとりの寛大なご理解とご協力を賜りここまで進めてまいりました。心より深く感謝申し上げます。

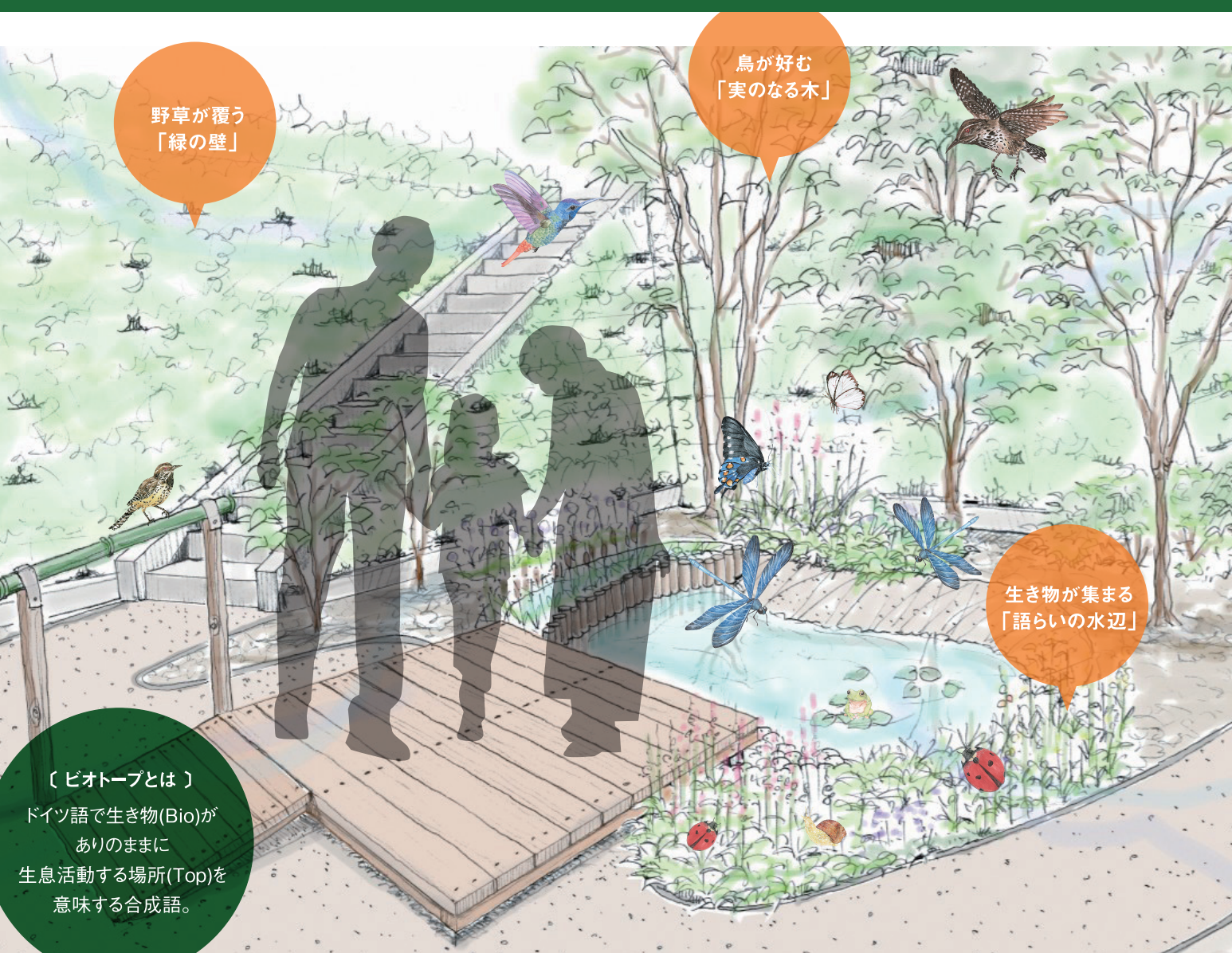
浜名湖エデンの園は今年度45周年を迎えることができました。これからもご入居者とともに、そして新たにお迎えする多くの方とともに発展していきます。

【表紙の人】 土山 美智子さん

浜名湖エデンの園に、開設時の1973年からご主人とともに入居され、50歳のときから45年間お住まいになられています。いつも凛として若々しい土山さんのお姿に職員一同元気をいただいております。浜名湖エデンの園45周年、そしてゆかり通信100号という節目に、表紙にご登場いただきました。



新1・2号館 完成予想パース



新しい浜名湖エデンの園づくりに向けて

現在、1・2号館の建て替え工事中で大変ご迷惑をおかけしておりますが、2020年春のオープンに向けて様々な新しい取り組みを計画しています。今回は、そのうちの一つ、緑豊かな自然を生かした新しい緑地「ビオトープ計画」についてご紹介します。浜名湖エデンの園の周辺は豊かな自然に恵まれ、たくさんの生物が生息しています。園内の雑木林には野鳥が飛び交い、花には蝶が舞い、野草には昆虫が集います。新1・2号館建設後もその環境を継続し、さらに周辺環境との調和を図り、人と自然の出会いの場を目指して、訪れた鳥や虫たち、そして人々も安らげるような新しい緑地「ビオトープ」を作ります。

「ビオトープ計画」

この「ビオトープ計画」は、事前に浜名湖エデンの園とその周辺地域の動植物調査を行い、周辺の自然環境を把握するところから始まりました。その後、ご入居者を交えて、ビオトープづくりの勉強会を3回実施し、皆さまから募ったご意見やご希望をもとに計画をしています。そのご希望とは、「今まで見られた野鳥たちが安心して戻って来られる場所」「緩やかなスロープ、安全面に配慮した水辺など様々な方が散策できる緑地」等々。是非、新しい浜名湖エデンの園の新しい緑地「ビオトープ」にご期待ください。

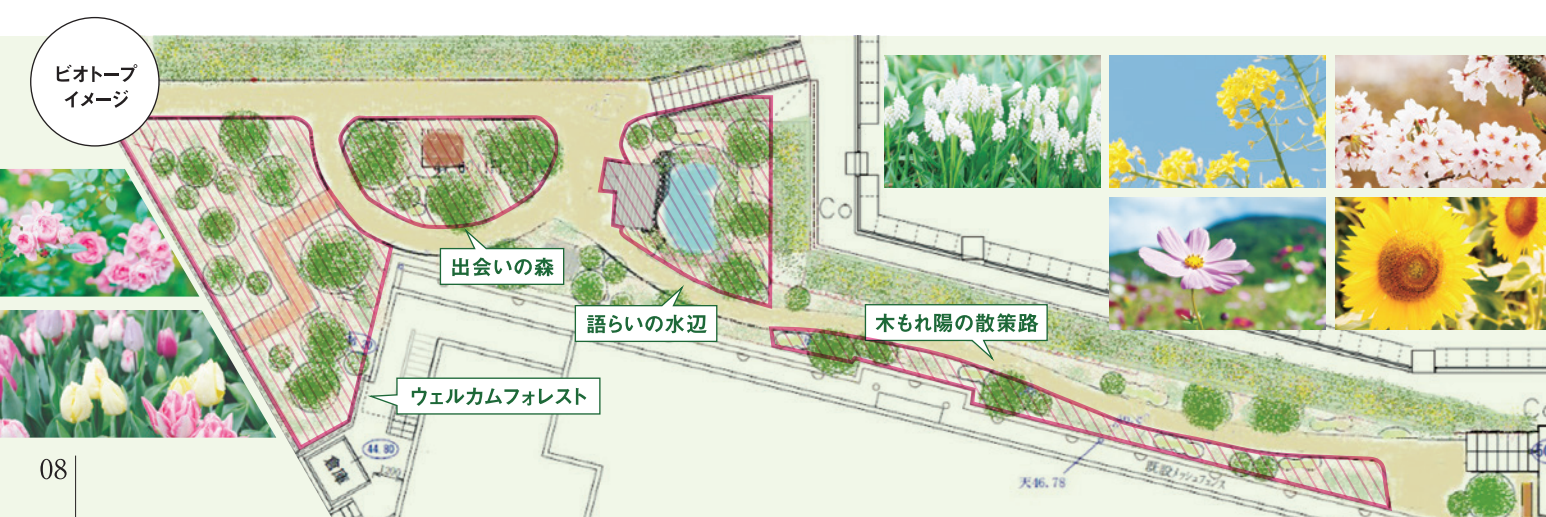


浜名湖エデンの園
入居者募集センター 所長
杉原 浩子

ゆかり会員の皆さまにおかれましては、よき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、浜名湖エデンの園では、2020年春のオープンに向けて様々な準備をしている最中でございます。新しい浜名湖エデンの園づくりとして、ビオトープのほかにも、新たに炭酸泉風呂や、大きな壁面から自然光を取り入れた多目的ホール、音楽室等、ご入居者の方々に喜んでいただける共用部を計画しております。また、災害時にも温かい食事を提供できるように設備を整えた食堂も完備し、皆さまにこれまで以上に安心して暮らしていただきたいと考えております。

2019年は昨年に引き続き、仮フロントや、仮食堂といった限られた中での施設運営となりますが、ぜひお近くにお越しになった際には、浜名湖エデンの園へお立ち寄りください。





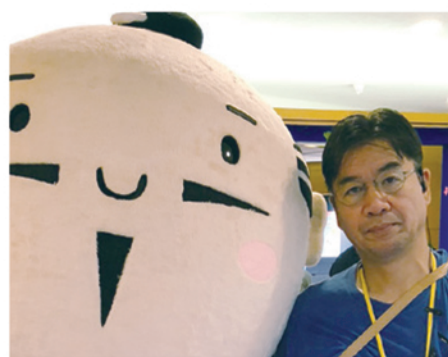
〔浜名湖エデンの園〕
建替工事 1・2号館さよならイベント
OKGAKU-SAI
～en麗～

縁 9/28(金) | 宴 9/29(土) | 円 9/30(日)

～すべては数えきれない人々の“縁”からはじまり、この“宴”を通して
ご入居者・地域の皆さまと“円”となり、そしてまた新しい“縁”でつながりますように～
との思いで3日間限定の音楽祭を開催しました。

2018年8月末に4号館増築部が竣工し、9月の引越し(ご入居者・共用部・事務所等)、9月末の「1・2号館さよならイベント」、そして忘れもしない台風24号の影響による27時間の停電(10月1日)など、振り返れば「怒涛の9・10月」でした。「さよならイベント」には、多くのプロミュージシャンが来園。皆さんがサブライズで介護居室を訪れ、特別に演奏してくださいました。ベイビー・ブーは、最前列の最高齢106歳のご入居者の体の動きにシンクロするかのようノリノリでロシア民謡「週間」を歌い、栗コーダーカルテットが「砂山」を演奏すると、ご入居者から自然に歌声が飛び出しました。「本物の音楽は必ず人々の心に届く」ということを改めて感じました。

副園長 吉田 まなぶ



2020年春のオープンに向けて、職員一丸となって新しい浜名湖エデンの園のサービスを整えていきたいと思います。

「古き時を知るご入居者の皆さまから思い出話を伺ってはノスタルジーに浸り、ご入居者と職員とが一緒に、なつて新しい時を共に迎える」私にとってはそういった感慨を感じる時でございました。

9月末のさよならイベントでは、開園45周年を祝い、1・2号館に別れを告げる、とても素敵な催しとなりました。

副園長 吉村 浩美



2018年1月に副園長として赴任後、仮設食堂でどのように温かい食事を提供できるかなどを本部や現場の職員たちと検討してきました。4号館増築部への引越しなどに関わり、本当にあつという間に9月がやってきたように思います。

